

# 大学eスポーツ 連覇狙え

## 広工大チーム あす予選

### オンライン練習で連係深め

コンピュータゲームを競技化した「eスポーツ」の全国大学選手権に、広島工業大（広島市佐伯区）のチームが出場する。昨年は強豪チームを抑えて優勝を飾っており、連覇がかかる。大会の注目度は高く、決勝は実況生中継がネット配信され、優勝賞金は100万円と高額だ。まずは24日の予選突破に向け、メンバーは練習を重ねている。（木下聡）

「eスポーツ愛好会」に所属する情報学部2年の宗広佑佑さん（19）と藤本陸さん（19）、同3年の尾崎春さん（21）のチーム。「マイナビeLeSports」の大学対抗部門に出場する。

種目は、世界中で楽しまれているオンライン・シューティングゲーム「エーペックスレジェンズ」だ。3人1組の計20チームでスタートし、徐々にエリアが狭くなる戦場で武器や補給品を回収しつつ敵チームを倒

していき、最後に残ったチームが勝者となる。テクニクだけでなく、チームワークや戦術も勝敗を左右するという。

昨年の大会には100以上のチームが参加。広工大チームは予選大会を勝ち抜き、20チームによる3月の決勝大会で東京大や明治大などのチームを破り、頂点に立った。尾崎さんは「何度も『落着け』と声を掛け合った。冷静にプレーすることが勝利の力ぎになった」と振り返る。優勝賞金は3人で分け合った。

当時のメンバー4人が大学を卒業して抜けたため、藤本さんが新たに加わった。「撃ち合いが強いと評価され、2人にスカウトされた。大会に出なかったのうれしかった」と笑顔を見せる。

新チームの始動はこの冬季休暇から。様々な状況に対応すべく練習を重ねるものの、3人が集まって顔を合わせることはほとんどない。各自の自宅からオンラインで参加するからだ。とはいえ、3人もゲーム経験は豊富で、短期間ながら連係は深まっている。

予選大会もオンラインで参戦するが、3月27日に東京都内で開かれる決勝大会は20チームが一堂に会し、実況中継がYouTubeなどでライブ配信される。宗広さんは「前回の優勝でかなり警戒されていると思うので、他チームの対策をはねのけないと勝ち進めない。出るからには連覇したい。まずは予選突破です」と力を込めた。

eスポーツは世界的に人気が高まっており、様々なゲームで多くのプロ選手が活躍。国際オリンピック委員会（IOC）も、五輪にあたる大会をサウジアラビアで開催することを決めている。



連覇を目指してeスポーツの全国大学選手権に出場する（左から）尾崎さん、宗広さん、藤本さん（広島市佐伯区で）